



# DocAve® 6 ソフトウェア プラットフォーム サービス パック 2 (SP2)

## リリース ノート

リリース日: 2013 年 2 月 27 日

# 新機能と強化点

## 全般

- SharePoint 2013 へアップグレードを行う場合、新規 DocAve ライセンスが必要となります。新しくライセンス ファイルを取得される方は、AvePoint 営業担当までご連絡ください。
- Windows Server 2012 に対応しました。
- DocAve 6 SP2 では、Governance Automation SP1 および SP2 に対応しています。
- Powershell および API を使用した移行プランの作成、管理、実行が可能になりました。この移行プランは、SharePoint 移行、eRoom 移行、ファイル システム移行、Notes/Domino 移行の際に使用できます。
- 有効な DocAve 6 ライセンスが適用されていない SharePoint ファームは、データ ツリー ナビゲーション ウィンドウに表示されなくなりました。

## 管理

### 管理センター

- SharePoint 2013 および SharePoint 2013 Online に対応しました。
- SharePoint 2013 のセキュリティ管理 Web パーツに対応しました。
- SharePoint 2013 のリストおよびライブラリでは、いいね！および星の評価機能は管理センターの [構成] タブ内のリボンから [全体設定] ドロップダウン リストを開き、[評価の設定] で設定することができます。
- SharePoint 2013 のリストおよびライブラリでは、[ドキュメント ライブラリの再インデックス] 機能は管理センターの [構成] タブ内のリボン上の [詳細設定] で設定することができます。
- SharePoint 2013 のサイトでは、[サイト設定の再インデックス] 機能は管理センターの [構成] タブ内のリボン上から [検索およびオフライン機能] で設定することができます。
- これまでのテーマ管理機能は SharePoint 2013 サイト コレクションでは外観の変更となり、テーマの色やサイトのレイアウト、フォントなどの詳細オプションが追加されました。

- バージョンを選択できるオプションが追加され、SharePoint 2010 テンプレートや SharePoint 2013 テンプレートを使用して SharePoint 2013 サイト コレクションを新規に作成することができるようになりました。

## 展開マネージャー

- オンラインでの展開プランが SharePoint 2013 ファームに対応するようになりました。

## レプリケーター

- SharePoint 2013 および SharePoint 2013 Online に対応しました。

## コンテンツ マネージャー

- SharePoint 2013 および SharePoint 2013 Online に対応しました。

## データ保護

### プラットフォーム バックアップ & リカバリー

- SharePoint 2013 に対応しました。
- フェールオーバー データベース サーバーに対応し、SharePoint 2010 および SharePoint 2013 におけるプラットフォーム レベルでのバックアップおよびリストアジョブが可能になりました。
- データベース レベルおよび最小単位レベルでのリストアで、エージェントのロード バランシング機能が追加されました。対象ファーム内のサーバーにはエージェントをインストールする必要があります。また、エージェント タイプにはプラットフォーム バックアップ & リカバリーが含まれている必要があります。
- ジョブ モニターでバックアップ ジョブを削除する際、関連バックアップ データも削除するかどうかを選択できるオプションが追加されました。
- データベースをリストアする際、リストア前に対象データベースが SQL 2012 AlwaysOn Availability グループに含まれている場合、データベースを削除することが可能になりました。

- 時間ベースのリストアで、[リストア タイプ設定] セクションにユーザー マッピング、ドメイン マッピング、言語マッピングが追加されました。
- コンテナおよびコンテンツ レベルの競合解決が時間ベースのリストアの際に使用できるようになりました。

## 最小単位バックアップ&リカバリー

- SharePoint 2013 および SharePoint Online 2013 に対応しました。

## レポート ポイント

- SharePoint 2013 に対応しました。
- 元データ生成レポートは、SharePoint 2013 ファームのコンテンツ DB 外の外部化データおよび接続データに対応しました。
- SharePoint 2013 ノードの SharePoint ストレージ レポートは、ファイル データの実際のストレージ サイズを表記するようになりました。
- 失敗したログイン試行、ダウンロード ランキング、IIS ログ、および DocAve 監査マネージャー機能で IIS 8 をサポートしました。

## ストレージ最適化

### コネクタ

- SharePoint 2013 に対応しました。
- [フォルダーの同期] または [フォルダーおよびサブフォルダーの同期] を選択する際に、接続された SharePoint フォルダおよびサブフォルダーも同期されるようになりました。これにより、ドキュメントの名前が変更されたりフォルダーを移動した際も追跡が容易になります。

### アーカイバ

- SharePoint 2013 に対応しました。

- コンテンツをアーカイブする際、コンテンツのプレビューに合わせてジョブおよびレポートの試行が可能になりました。SharePoint 2013 では、テスト試行によりジョブ詳細も生成されます。
- ファイルの一括アーカイブの際に使用する [アーカイブ] ボタンがリボン上に追加されました。
- エンドユーザー アーカイバを使用する際にタグを追加できるようになりました。これにより、エンドユーザーがアーカイブ済みファイルを検索しやすくなりました。

## ストレージ マネージャー

- SharePoint 2013 に対応しました。
- スケジュール ストレージ マネージャー ジョブでは、SharePoint 2010 および SharePoint 2013 のサードパーティ スタブをスケジュール ストレージ マネージャー スタブに変換することができるようになりました。
- リアルタイム ストレージ マネージャー インターフェイス上の説明は、SharePoint 2013 では [シユレツド済みストレージ] と呼ばれるより詳細な機能へと変わりました。
- [孤立した BLOB の整理] ジョブの機能が、マルチ スレッド型を採用したものに変わりました。
- 処理プールで詳細説明機能が追加されました。
- リアルタイム ストレージ マネージャー ルールおよびスケジュール ストレージ マネージャー ルールで詳細説明機能が追加されました。

## 移行

- 以下のストレージから SharePoint 2013 への移行に対応しました。  
SharePoint (2007/2010)、eRoom、Exchange パブリック フォルダ、ファイル システム、LiveLink、Lotus Notes

## Livelink 移行

- リスト名マッピングに対応しました。

## Notes/Domino 移行

- Lotus Notes のドキュメントを SharePoint ドキュメント セットとして移行できるようになりました。
- 移行元の添付ファイルを、サイズ単位でフィルタリングできるようになりました。

## SharePoint 移行

- SharePoint 2007 および SharePoint 2010 から SharePoint 2013 への移行に対応しました。

## 既知の問題

### 全般

- Windows アップデート KB2756920 をインストールした後にコントロール サービスにアクセスできない状態が発生した場合、ホットフィックス KB2637518 をインストールすることで解決します。ダウンロードリンクは Microsoft® のサポート ナレッジベース内にあります。<http://support.microsoft.com/kb/2637518>)

### 管理

#### 展開マネージャー

- (SharePoint 2010 で適用) 展開元および展開先両方のコンテンツ タイプで名前が一致しているがタイプが一致しない場合、コンテンツ タイプは展開先で上書きされません。この場合、元の名前の末尾に数字を追加して新しくコンテンツ名が作成されます。

### データ保護

## プラットフォーム バックアップ&リカバリー

- バックアップ ジョブに Web アプリケーションが 2 つ含まれている状態で、そのうち 1 つの Web アプリケーション内の BLOB データを対象に [元の場所へリストア] を実行すると、両方の Web アプリケーション内の BLOB データがリストアされます。
- SharePoint 2013 ファーム内に複数の Search Service アプリケーションが存在しており、かつインデックス コンポーネントが同一 SharePoint サーバー内に存在していない場合、Search Service アプリケーション バックアップの際にインデックス コンポーネントはバックアップされません。
- TDE 暗号化済みデータベースを対象に [別の場所へリストア] を実行する前にリストア元のマスターキーをリストア先で生成していない場合、[別の場所へリストア] ジョブは失敗します。

**対処法:** リストア先 SQL Server 上で以下のコマンドを使用し、リストア元と同じマスターキーを生成します。

```
"USE master;
```

```
GO
```

```
CREATE MASTER KEY ENCRYPTION BY PASSWORD = '<1qaz2wsxE>';
```

```
Go"
```

その後 [別の場所へリストア] ジョブを実行し、TDE 暗号化済みデータベースをリストアします。

- バックアップ ジョブの実行前にエレメント `<ForceUseCache>false</ForceUseCache>` の値を **[true]** に変更すると、インデックスを正常に生成することができます。
- リストア先に手動で作成したフォルダーに対してフォルダーのリストアを実行する場合、通知が正しくリストアされない場合があります。
- 現在 SharePoint 2013 では、[別の場所へリストア] は Web アプリケーション レベルのみ対応しています。
- 現在 SharePoint 2013 では、ファームの完全再構築は対応していません。

## 最小単位バックアップ&リカバリー

- (SharePoint 2013 で適用) ドメイン マッピングを使用する際、末尾にドメイン名がついていない場合はドメイン マッピングが適用されません。例：ドメイン名.com
- (SharePoint 2013 で適用) 権限の継承を解除したサブサイトがあるサイト コレクションをリストアする場合、リストア後のサブサイトは権限を継承し、バックアップ ジョブ前に作成した権限レベルはすべて

サイト コレクションの権限レベルに含まれます。

## レポート ポイント

- (SharePoint 2013 で適用) ファーム レベルでのベスト プラクティス レポートには、評価カウントは含まれていません。
- SharePoint Web Analytics は 2013 で廃止されたため、検索利用状況レポートおよび参照元レポートは SharePoint 2013 ファームではサポートされていません。

## ストレージ最適化

### コネクタ

- (SharePoint 2013 RTM で適用) SharePoint ドキュメント ライブラリから変換した DocAve コンテンツ ライブラリ内のフォルダーでは、SharePoint フォルダー内で行った変更が正しく同期されない場合があります。
- フォルダーをコネクタのライブラリ間で移動した後に削除し、その後完全同期ジョブを実行すると、ネットシェア ストレージ場所内のフォルダーは削除されないまま残ります。
- SharePoint 2010 エクスペリエンス バージョンのテンプレートを使用して作成した SharePoint 2013 サイト コレクションでは、コネクタのライブラリを作成することはできません。
- エージェント サービスの中断中に SharePoint コネクタ ライブラリ内のファイルおよびフォルダーの名前が変更された場合、変更は構成パスの先には同期されません。
- SharePoint 2010 から SharePoint 2013 にアップグレードする際、コネクタ ライブラリに変換したメディア ライブラリは現状アップグレードすることができません。メディア ライブラリ内のデータは、アップグレード後は使用できなくなります。
- Information Rights Management は、SharePoint の制限の理由から接続データのバージョン ファイルには対応していません。



## 通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

## 著作権

Copyright © 2013 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0075 東京都港区港南 2 丁目 4-15 品川サンケイビル 2 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

## 登録商標

AvePoint<sup>®</sup>、DocAve<sup>®</sup>、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

## 変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく記載内容を変更する権利を所有します。

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2 丁目 4-15

品川サンケイビル 2 階